

民生福祉常任委員会審査日程

日 時 令和7年8月26日(火)

9時から

場 所 第2委員会室

～審査内容～

- 1 議案第58号 令和6年度山陽小野田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について (保年)
- 2 議案第60号 令和6年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について (保年)
- 3 議案第59号 令和6年度山陽小野田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について (高齢)
- 4 議案第62号 令和6年度山陽小野田市病院事業決算認定について (病院)
- 5 所管事務調査 病院事業報告について (病院)
- 6 議案第75号 山陽小野田市児童館条例を廃止する条例の制定について (子育て)

**令和6年度
山陽小野田市国民健康保険特別会計
決算の概要**

山陽小野田市福祉部保険年金課

令和6年度 山陽小野田市国民健康保険特別会計決算

【歳入】

(単位：千円)

科目名		R6年度決算額	R5年度決算額	増減	内容
1	国民健康保険料	936,629	934,036	2,593	保険料収入
2	国民健康保険税	63	1	62	
3	使用料及び手数料	505	544	△39	督促手数料他
4	国庫支出金	8,624	122	8,502	マイナ保険証システム改修
5	県支出金	5,147,438	5,510,905	△363,467	保険給付費等交付金
6	財産収入	505	119	386	預金利息
7	繰入金	801,735	786,887	14,848	
	1 他会計繰入金	553,131	556,150	△3,019	一般会計からの繰入金
	2 基金繰入金	248,604	230,737	17,867	基金から取り崩し
8	繰越金	94,754	96,838	△2,084	前年度繰越金
9	諸収入	27,636	11,420	16,216	療養費返還金他
合計		7,017,889	7,340,872	△322,983	

令和6年度 山陽小野田市国民健康保険特別会計決算

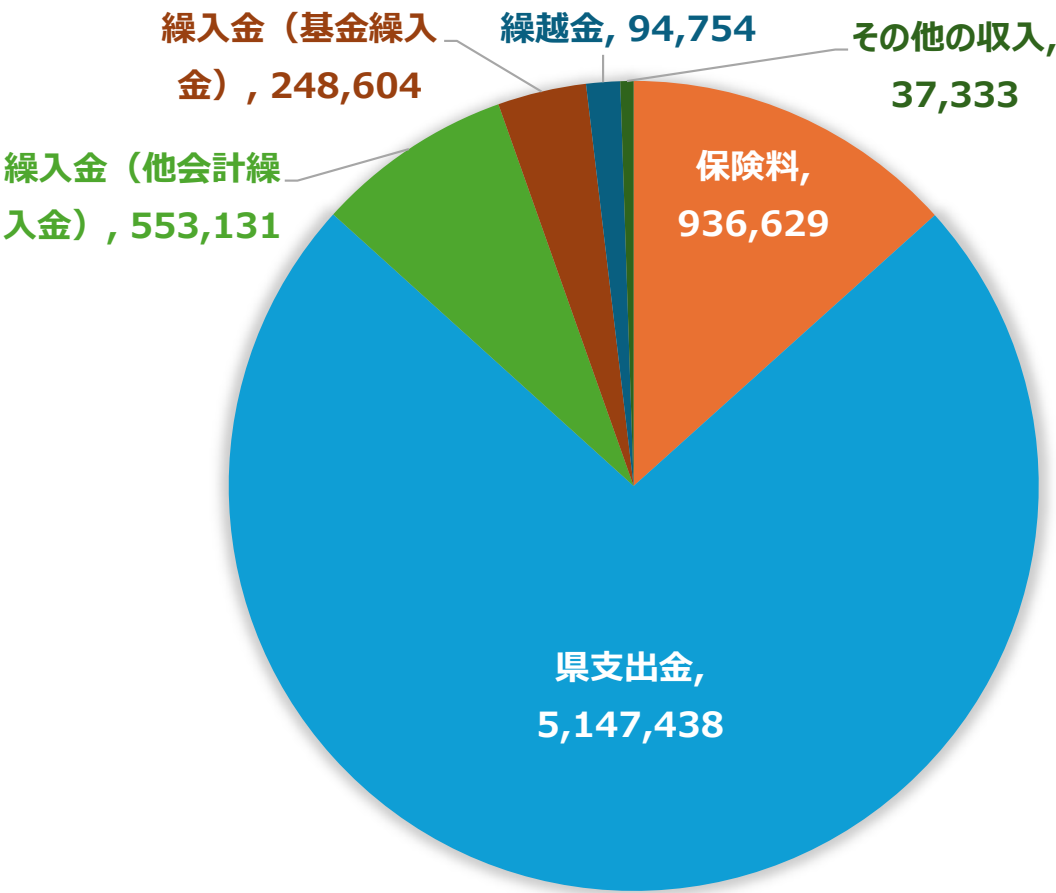
【歳出】

(単位：千円)

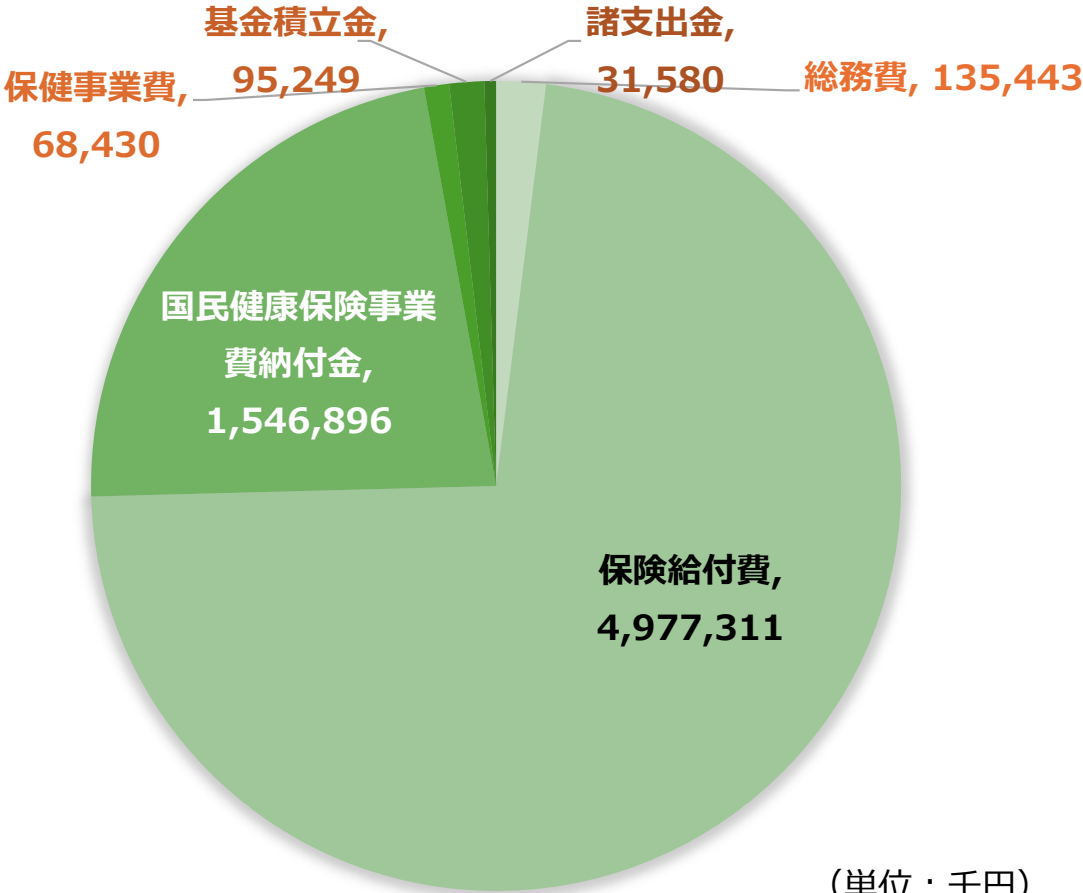
歳 出		R6年度決算額	R5年度決算額	増減	内容
1	総務費	135,443	119,326	16,117	職員給与費、事務費
2	保険給付費	4,977,311	5,368,193	△390,882	
	1 療養諸費	4,266,162	4,619,850	△353,688	保険者負担分医療費
	2 高額療養費	697,945	732,774	△34,829	高額療養費
	3 移送費	0	0	0	移送費
	4 出産育児諸費	8,504	10,164	△1,660	出産育児一時金
	5 葬祭諸費	4,700	5,350	△650	葬祭費一時金
	6 傷病手当金	0	55	△55	傷病手当金
3	国民健康保険事業費納付金	1,546,896	1,577,415	△30,519	県に納付する事業費納付金
4	共同事業拠出金	0	1	△1	
5	保健事業費	68,430	67,391	1,039	
	1 保健事業費	18,075	18,515	△440	がん検診、脳ドック等
	2 特定健康診査等事業費	50,355	48,876	1,479	特定健診、特定保健指導
6	基金積立金	95,249	96,947	△1,698	基金へ積立て
7	諸支出金	31,580	16,845	14,735	普通交付金返還他
合計		6,854,909	7,246,118	△391,209	

令和6年度 山陽小野田市国民健康保険特別会計決算

歳入（総額 7,017,889千円）



歳出（総額 6,854,909千円）



(単位：千円)

●収支差引

歳入総額7,017,889千円－歳出総額6,854,909千円＝162,980千円（令和7年度へ繰越） 3

令和6年度主要事業・制度改正

1

「マイナ保険」への移行

令和6年12月2日から健康保険証の新規発行が終了し、「マイナ保険証」を基本とする仕組みに移行しました。現行の保険証の有効期限は令和7年7月31日までで終了し、8月以降は、「マイナ保険証」で医療機関を受診することになりました。マイナ保険証をお持ちでない人には、「資格確認書」を交付しています。

2

保険料率の見直し

被保険者の減少や高齢化、医療費の増加などの影響により、国保の財政運営の厳しい状況が続く中、被保険者のみなさまがこれからも安心して医療を受けられるよう、持続可能な国保財政の運営を行うため、13年ぶりに保険料率を改定しました。

3

賦課限度額・軽減判定基準額の引上げ

国民健康保険料の限度額が引き上げられ、保険料の賦課限度額が104万円から106万円に引き上げられました。また、国民健康保険料の低所得者を対象とした軽減措置について、軽減判定所得の基準額が引き上げられました。

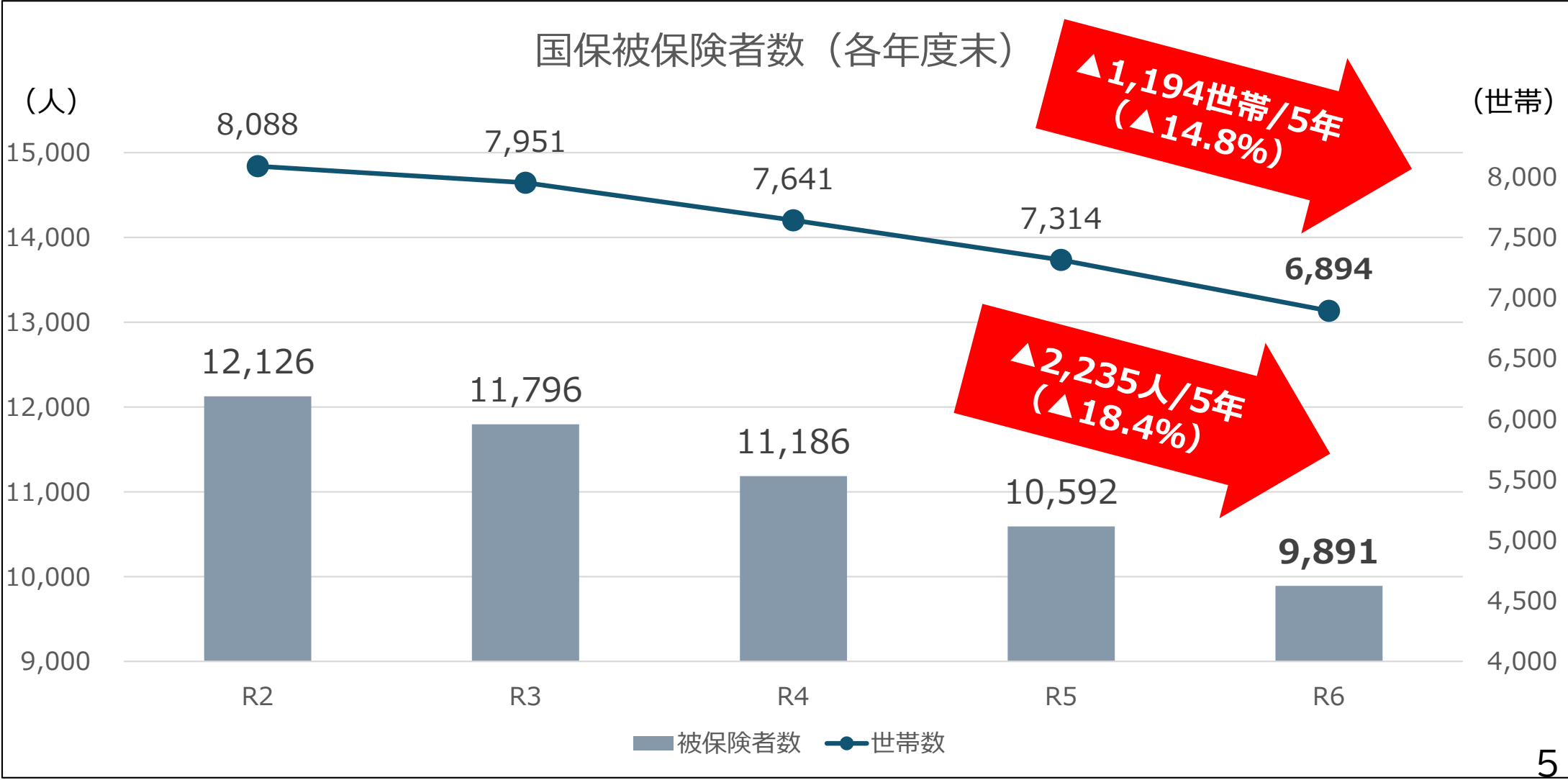
4

ペイジー口座振替受付サービスの導入

令和6年7月から国民健康保険料の口座振替の申込みを、市役所の窓口で受け付けできるサービスを導入しました。銀行に行かなくても市役所に設置してある専用端末にキャッシュカードを通すだけで、手続きが完了します。納期限納付を進めるため、口座振替の推進を今後も進めます。

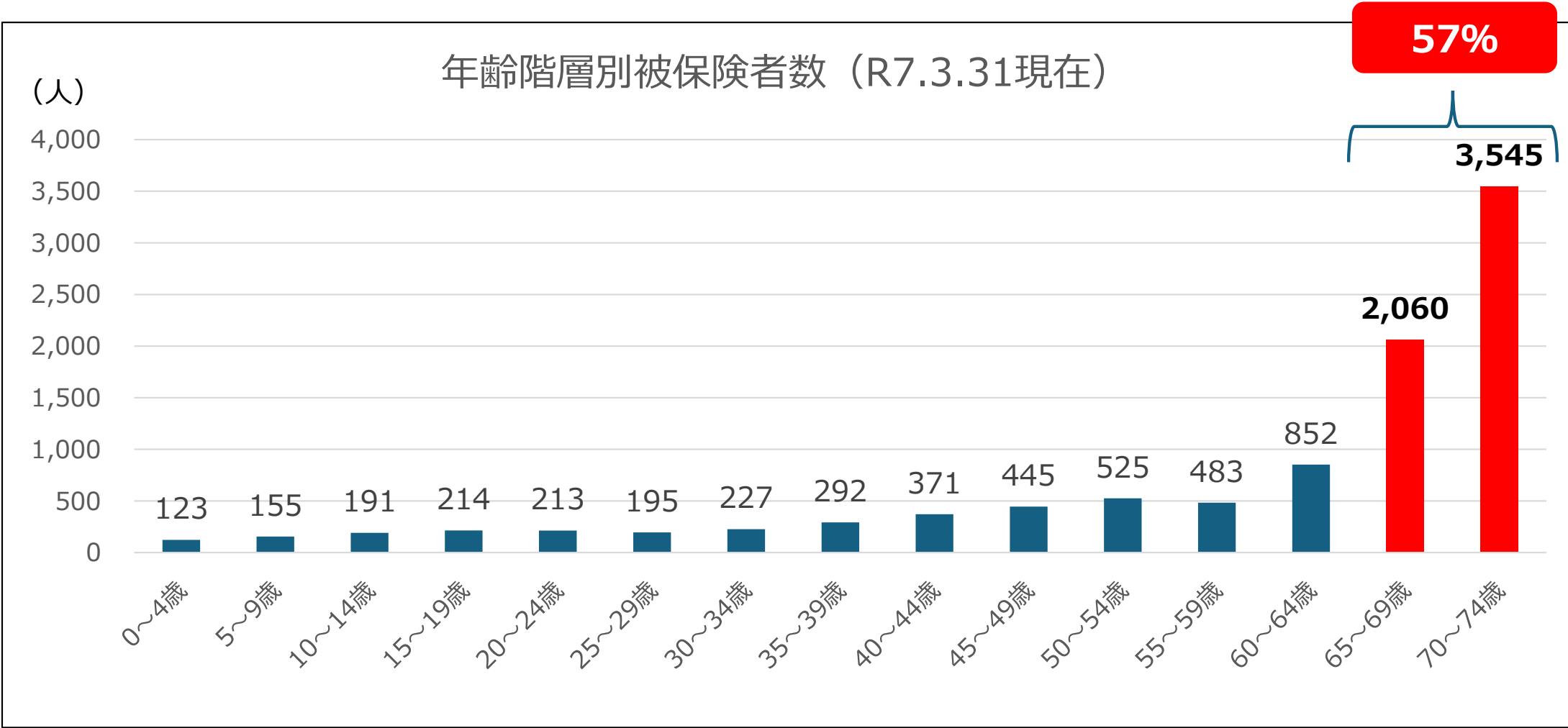
被保険者数・世帯数の推移

令和6年度末の被保険者数は、**9,891人**となり、前年度から**701人（6.6%）減少**しました。また、令和2年度から令和6年度までの5年間で、**2,235人（18.4%）減少**しています。世帯数も同様に減少しています。これは、高齢化により後期高齢者医療制度への移行が進んでいることが主な要因です。



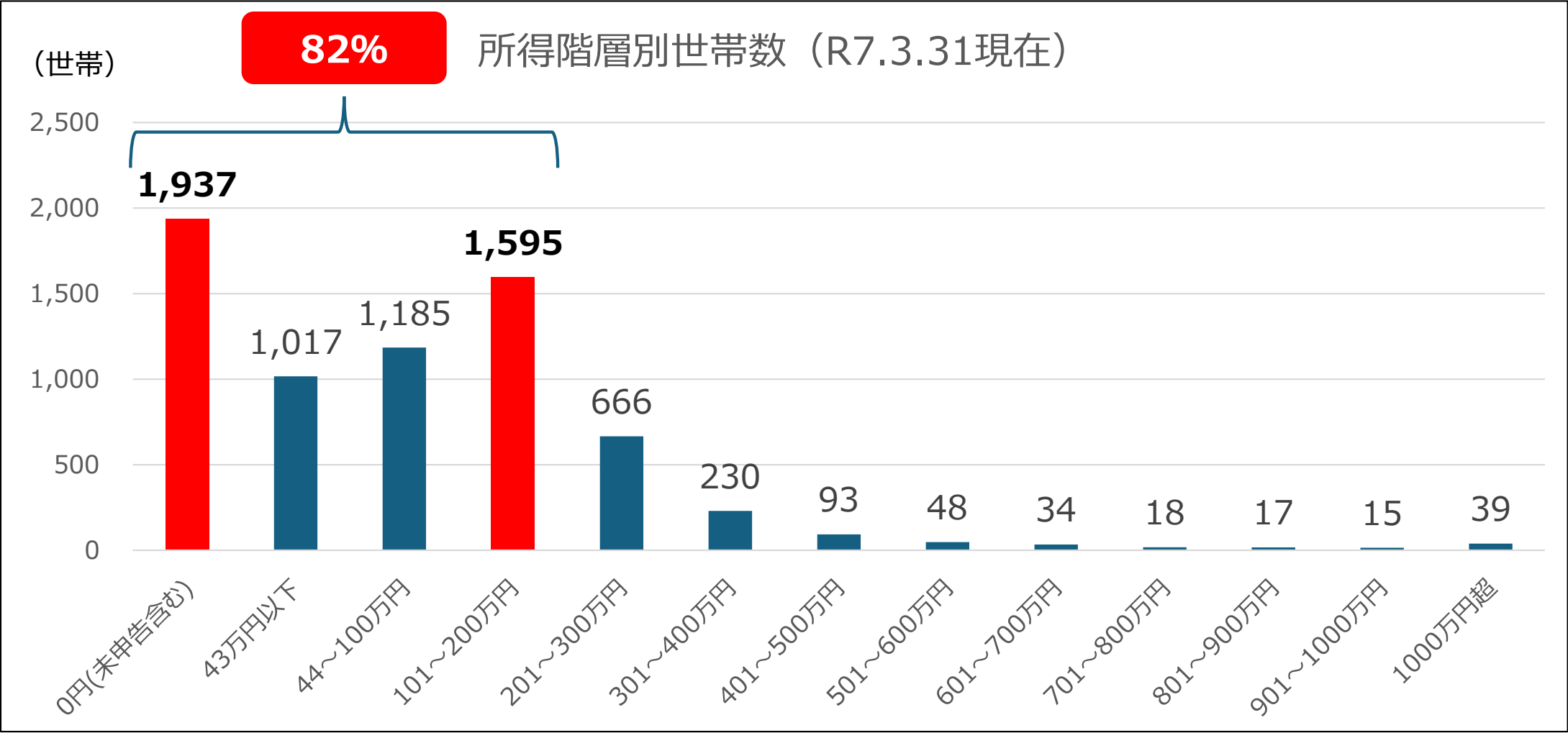
年齢階層別被保険者数

国民健康保険に加入している被保険者の年齢構成は、70～74歳が最も多く（3,545人）、次いで65～69歳（2,060人）となっています。
65歳以上の被保険者が、全被保険者のうち**57%**を占めています。



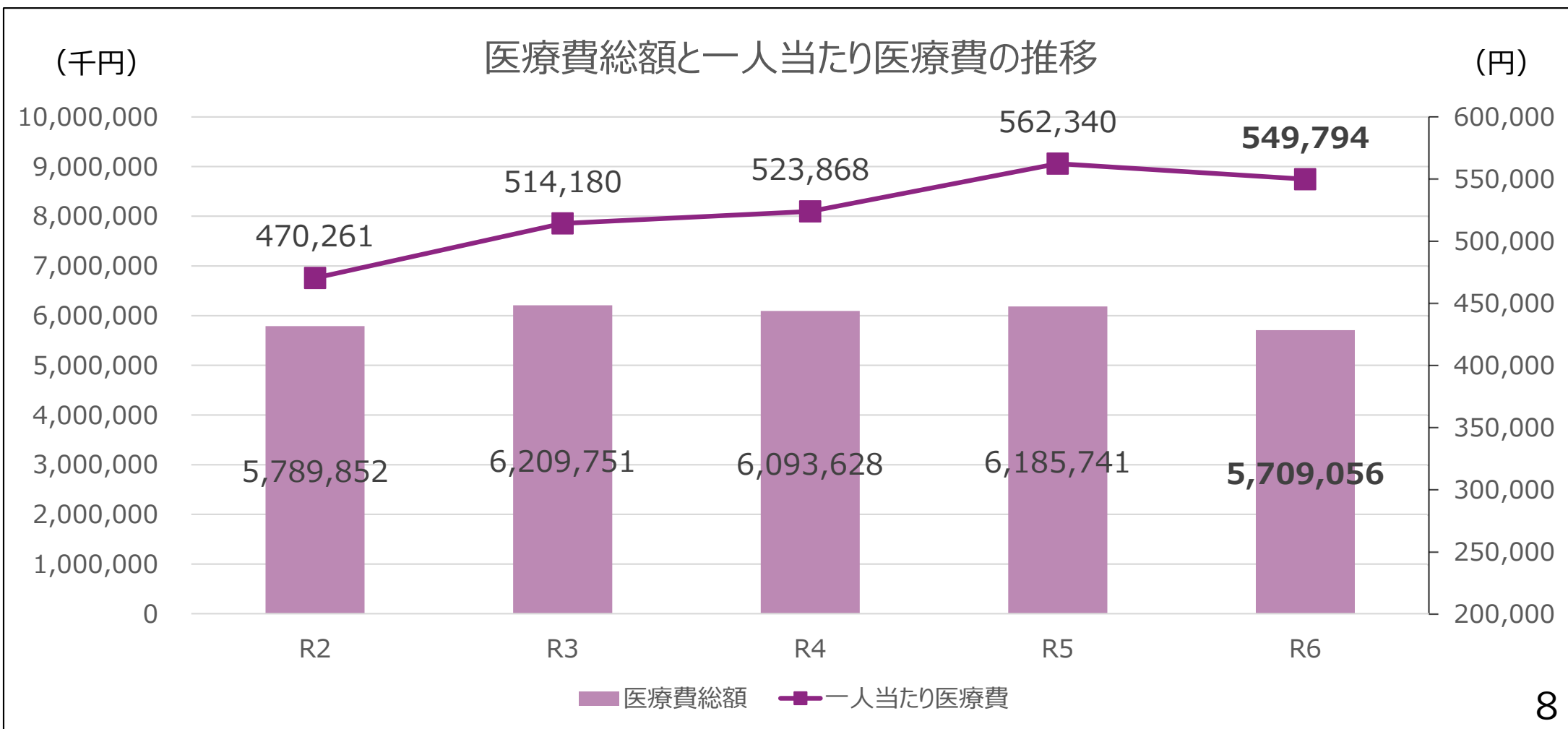
被保険者の所得階層別世帯数

国民健康保険に加入している世帯の所得階層は、所得が0円の世帯が最も多く（1,937世帯）、次いで101～200万円の世帯（1,595世帯）となっています。
所得が200万円以下の世帯が、全世帯のうち**82%**を占めています。



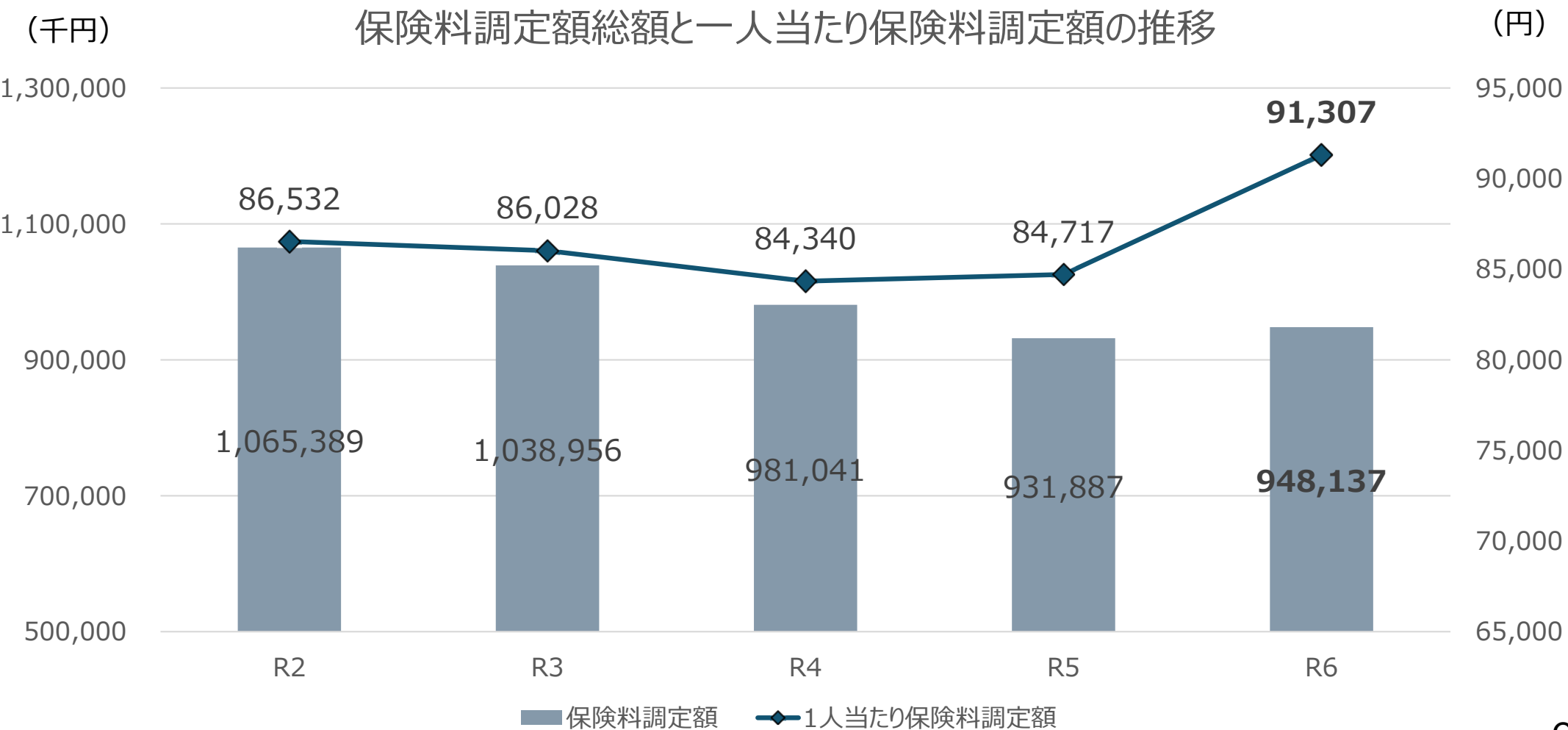
医療費の推移

本市国民健康保険に係る医療費（入院、外来、歯科、調剤などの医療に要した費用の総額）は、コロナ感染拡大後の令和3年度以降は横ばい傾向でしたが、令和6年度は大幅に減少しました。また、一人当たりの医療費についても、年々増加傾向にありましたが、令和6年度は減少に転じました。これは、団塊の世代の後期高齢者医療への移行を背景に、被保険者数が**6.6%減少**したことが主な要因とされます。



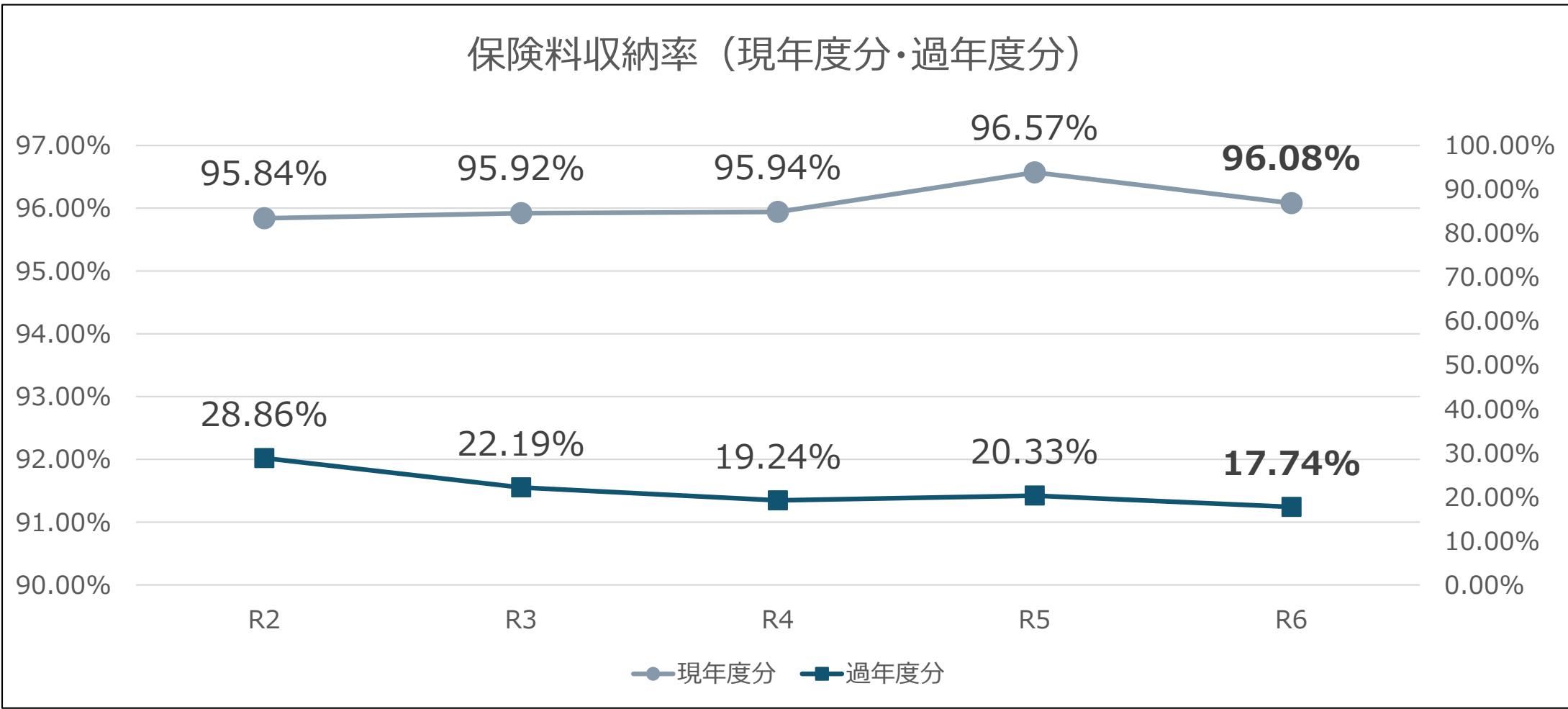
保険料調定額の推移

令和6年度の保険料調定額は、**948,137千円**となり、前年度から16,250千円の増となりました。また、1人当たりの保険料調定額も前年度から6,590千円の増となりました。保険料調定額は、年々減少傾向にありましたが、令和6年度に保険料率の改定を行った結果、増加に転じています。なお、増加の要因として賃金や年金収入の増による所得の増加も考えられます。



保険料収納率の推移

令和6年度末の現年度分の保険料の収納率は、**96.08%**となり、前年度より0.49ポイント低下しましたが、滞納者対策の取組や納付機会の充実を行ってきた結果、高い収納率を維持しています。過年度分の収納率は、滞納繰越額が減少していることありますが、若干低下しています。



保険料率

持続可能な国民健康保険の運営を行うため、令和6年度に保険料率の改定を行いました。
（平成23年度以降13年ぶり）
今後も将来収支や基金残高等に注視し、適正な保険料率の設定を検討していきます。

区分		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
医療分	所得割	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%
	均等割	23,400円	23,400円	23,400円	23,400円	23,400円
	平等割	21,000円	21,000円	21,000円	21,000円	21,000円
後 期 支援分	所得割	2.5%	2.5%	2.5%	2.8%	2.8%
	均等割	6,900円	6,900円	6,900円	8,000円	8,000円
	平等割	6,300円	6,300円	6,300円	7,100円	7,100円
介護分	所得割	2.0%	2.0%	2.0%	2.4%	2.4%
	均等割	6,300円	6,300円	6,300円	7,700円	7,700円
	平等割	4,200円	4,200円	4,200円	5,100円	5,100円

保険料の滞納状況等

<滞納世帯数（各年度5月31日現在）>

年度	R4年度	R5年度	R6年度
平均世帯数	7,891世帯	7,536世帯	7,185世帯
滞納世帯数	916世帯	779世帯	709世帯
割合	11.6%	10.3%	9.9%

<短期証・資格証・特別療養費の対象件数（各年度5月31日現在）>

年度	R4年度	R5年度	R6年度
短期被保険者証	230件	196件	—
資格証明書	19件	24件	—
特別療養費支給対象	—	—	58件

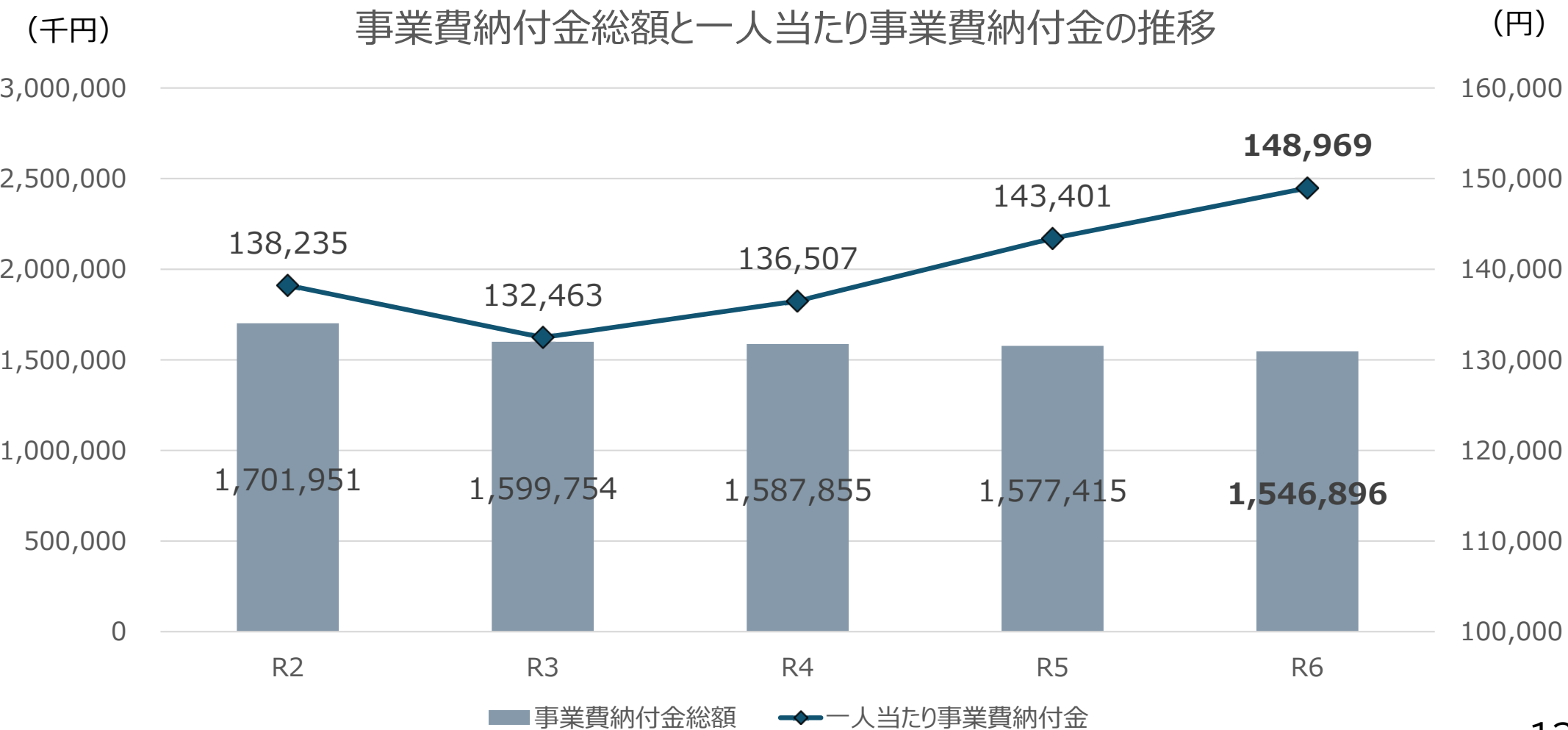
R6.12以降、マイナ保険証への移行に伴い、短期被保険者証・資格証明書は廃止され、特別療養費の支給の仕組みに変更となりました。

<差押件数（各年度5月31日現在）>

年度	R4年度	R5年度	R6年度
預金口座	50件	122件	23件
生命保険・給与等	104件	50件	30件
合計	154件	172件	53件
差押金額	6,208,762円	5,239,450円	2,185,866円

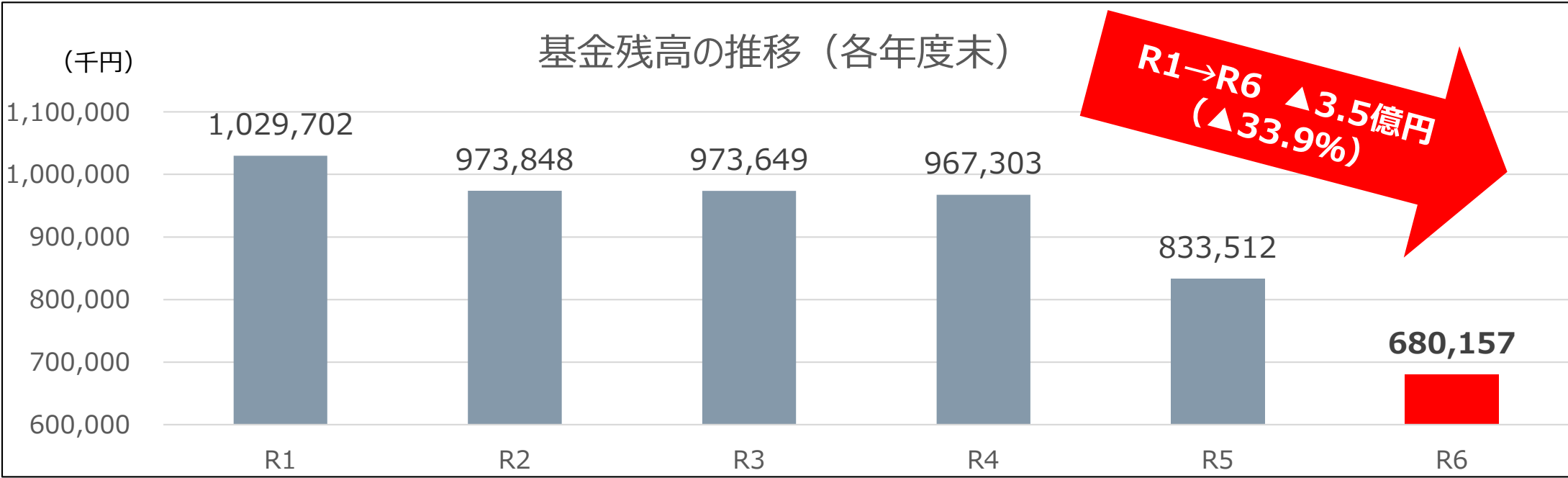
事業費納付金の推移

事業費納付金は、県が財政運営の責任主体として、市町が行う療養の給付等にかかった費用を全額負担する一方で、その財源として市町から徴収する納付金です。事業費納付金の総額は、被保険者の減少に伴い減少傾向にあるものの、被保険者一人当たりの事業費納付金の負担額で見ると、年々増加傾向にあります。



基金残高の推移

国保財政の安定化や被保険者の保険料の負担軽減等を目的とした国民健康保険基金の残高は、令和6年度末の残高は**6.8億円**で、令和元年度に10億円あった残高は、**3.5億円減少**しました。今後も、持続可能な国保財政の運営を行っていくため、基金残高に注視し、適切な保険料率の設定や効率的な事業運営を行っていく必要があります。



	R1	R2	R3	R4	R5	R6
積立額	119,289	129,629	172,741	170,814	96,946	95,249
取崩額	235,844	185,483	172,940	177,160	230,737	248,604
残 高	1,029,702	973,848	973,649	967,303	833,512	680,157

保健事業の実績

各種保健事業

4款 保健事業費 1項 保健事業費 1目 疾病予防費

項目	内容	実績等
がん検診事業	健康増進課が実施するがん検診について、国保被保険者の検診料を一部負担します。	のべ受診者：6,300人
健康運動事業 (こくほシェイプアップジム)	健康づくりの一環として、市内のトレーニングジムの指導の下、生活習慣病の改善、運動習慣の確立を図ります。 ○実施場所：スポーツコアアルファ、ゼロワン、カーブス ○実施時期：6月、10月、2月（各8回） ○自己負担：1,000円	参加者数：72人
ジェネリック医薬品差額通知	ジェネリック医薬品について、被保険者に対し先発薬との差額通知書を送付し、意識啓発と利用率向上を図ります。	通知回数：年2回 通知件数：229件 利用率：87.1%
医療費通知	医療機関での受診状況を通知することにより、被保険者の関心を喚起して、医療費の適正化を図ります。	通知回数：年3回 通知件数：22,165件
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症の高リスク者を抽出し、かかりつけ医から推薦を受けた対象者に6か月間の保健指導を行うことで生活習慣の改善を図ります。	参加者数：10人
歯周病検診	30歳以上の被保険者を対象に、歯周病予防のため、歯周病検診を実施します。	受診者数：140人
脳ドック助成	脳ドックを受診する際の費用を助成することで、脳疾患の早期発見と医療費の適正化を図ります。 ○自己負担額：4,000円	助成人数：117人
保健事業推進支援事業	医師や保健師の専門的な知識を持つ事業者からの支援を受けることで、効果的・効率的な保健事業を展開し、医療費適正化を図る。	

保健事業の実績

特定健康診査

4款 保健事業費 2項 特定健康診査等事業費

40～74歳の加入者を対象に、生活習慣病の発症や重症化の予防を目的として医療保険者が実施する健診

＜特定健康診査の受診状況＞

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度※
対象者数	9,360人	9,051人	8,520人	8,026人	7,455人
受診者数	3,220人	3,406人	3,227人	3,162人	3,046人
受診率	34.4%	37.6%	37.9%	39.4%	40.9%

※R6年度の確定値は、11月頃になる予定

＜特定健康診査受診勧奨事業＞

○特定健診の未受診者に対して、過去受診歴や健康意識などから対象者に合わせた勧奨通知はがきを送付（R6.9発送 7,000通）

○個別健診の医療機関の選択肢を狭め、安心感を持ってもらうため、対象者のかかりつけ医を記載した勧奨通知はがきを送付（R6.11発送 3,500通）

特定健診受診までの流れ

すでに受診済み・予約済みの方は、行き直してすぐにご健診ください。

個別健診

中面をご覧ください。お申し込みください。

集団健診

申込期間

令和6年10月7日(月)～
受診希望日の10日前まで

土日の場合はその日の前夜まで

定員がご満室です。お早めにお申し込みください。

Step1 | 日程・会場を選ぶ

日程	会場	受付時間
10月27日(日)	保健センター	8:00～11:30
10月30日(水)	保健センター	8:00～11:30
11月 6日(土)	労働会館	9:30～11:30
11月30日(土)	保健センター	8:00～11:30

Step2 | 電話で申し込む

山崎小野田 山崎健康推進室

☎0836-71-1814

(平日8:30～17:15)

【健診費用】無料

【健診の特典】①保険証 ②質問票 ③受診券

この3つは必ず受診券までお持ちください。

※受診の持ち物はこちらをご覧ください。事前に山崎小野田 山崎健康推進室(0836-403-118)へお問い合わせください。

医療機関が遠る「個別健診」の詳細は中面へ

郵便はがき

持病で「通院してるから」、大丈夫。
血液検査も定期的に受けてるし…
わざわざ健診に行く必要？

通院と健診を併用することで、普段はなかなか気づけないさまざまな変化も見逃しません。
まずは、あなたのかかりつけ医でも受診できるか確認してみてください。

かかる費用

0 円

個人で受ける時
約12,000円
かかる健康費です。

これだけの検査が約「1時間」で終わります

- 血液検査
- 血圧測定
- 尿検査
- 身体測定
- 心電図
- 診察・問診

※検査の日と時間はお選びいただけます。お試みください。お申し込みが必要です。

検査でわかる病気

糖尿病、高血圧症、脂質異常症、動脈硬化症、慢性腎臓病、胆石症、アルコール性肝炎、脂肪肝など

[illegible]

保健事業の実績

特定保健指導

4款 保健事業費 2項 特定健康診査等事業費

特定健診の結果、生活習慣病の発症リスクが高いと判定された対象者に、医師・保健師・管理栄養士等の専門家が、生活習慣改善のための行動計画を策定し、健康的な生活の維持ができる面接・指導等を行います。

<特定保健指導の実施状況>

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度※
対象者数	317人	331人	283人	293人	281人
実施者数	25人	20人	17人	30人	29人
実施率	7.9%	6.0%	6.0%	10.2%	10.3%

※R7.7.31時点 最終的な実施率は**19%**程度となる見込み

<特定保健指導利用勧奨事業>

①医療機関に委託

特定健診の結果説明の際に、特定保健指導の対象者となった人に対して利用勧奨をする業務を委託

○受託医療機関：13機関

○利用勧奨実施人数：40人

②民間事業所に委託

特定保健指導の対象となった人に対して電話勧奨を行い、意向があった人に対して保健指導を実施する。

○委託事業所 NPO法人 ヘルスプロモーションネットワーク

○利用勧奨実施人数：137人

令和6年度
山陽小野田市後期高齢者医療特別会計

決算の概要

山陽小野田市福祉部保険年金課

令和6年度 山陽小野田市後期高齢者医療特別会計決算

【歳 入】 (単位：千円)

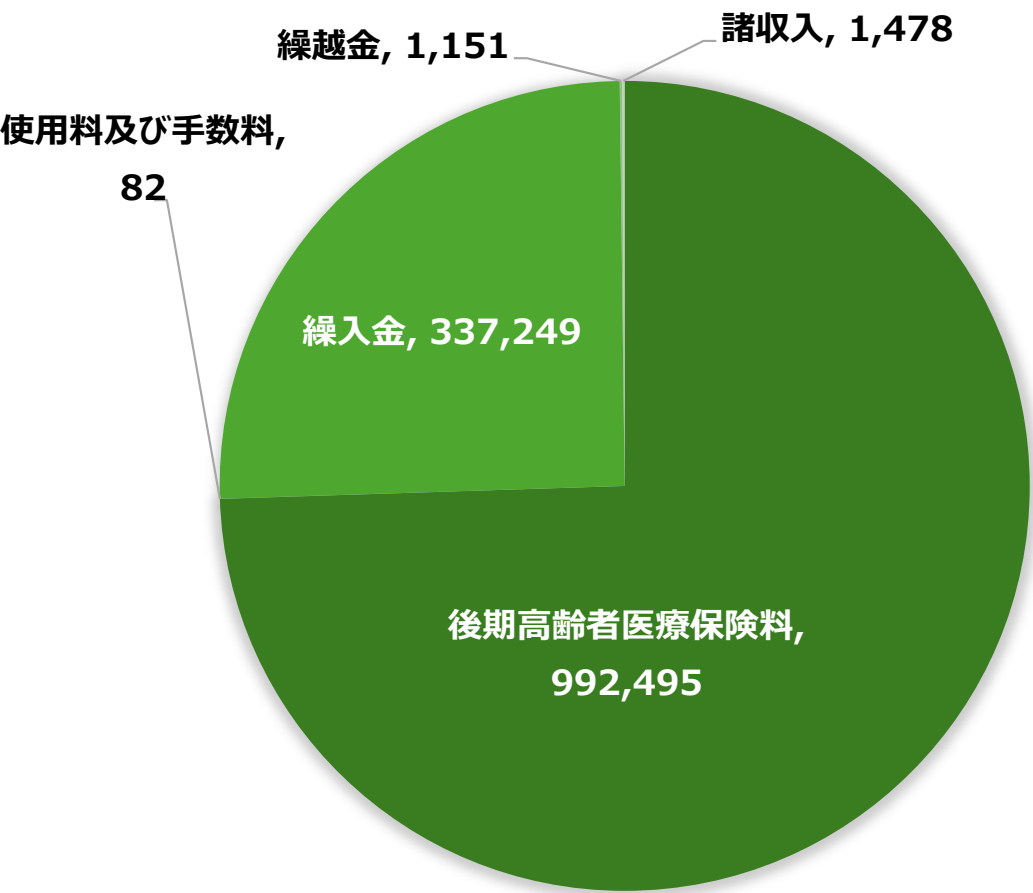
予算科目		令和6年度決算額	令和5年度決算額	増減額	内 容
1	後期高齢者医療保険料	992,495	866,753	125,742	現年度分・過年度分保険料
2	使用料及び手数料	82	90	△8	証明手数料、督促手数料
3	繰入金	337,249	293,245	44,004	国の基準に基づく一般会計繰入金（事務費等繰入金、保険基盤安定繰入金）
4	繰越金	1,151	1,290	△139	前年度繰越金
5	諸収入	1,478	7,636	△6,158	延滞金、保険料還付金ほか
合計		1,332,455	1,169,014	163,441	

【歳 出】 (単位：千円)

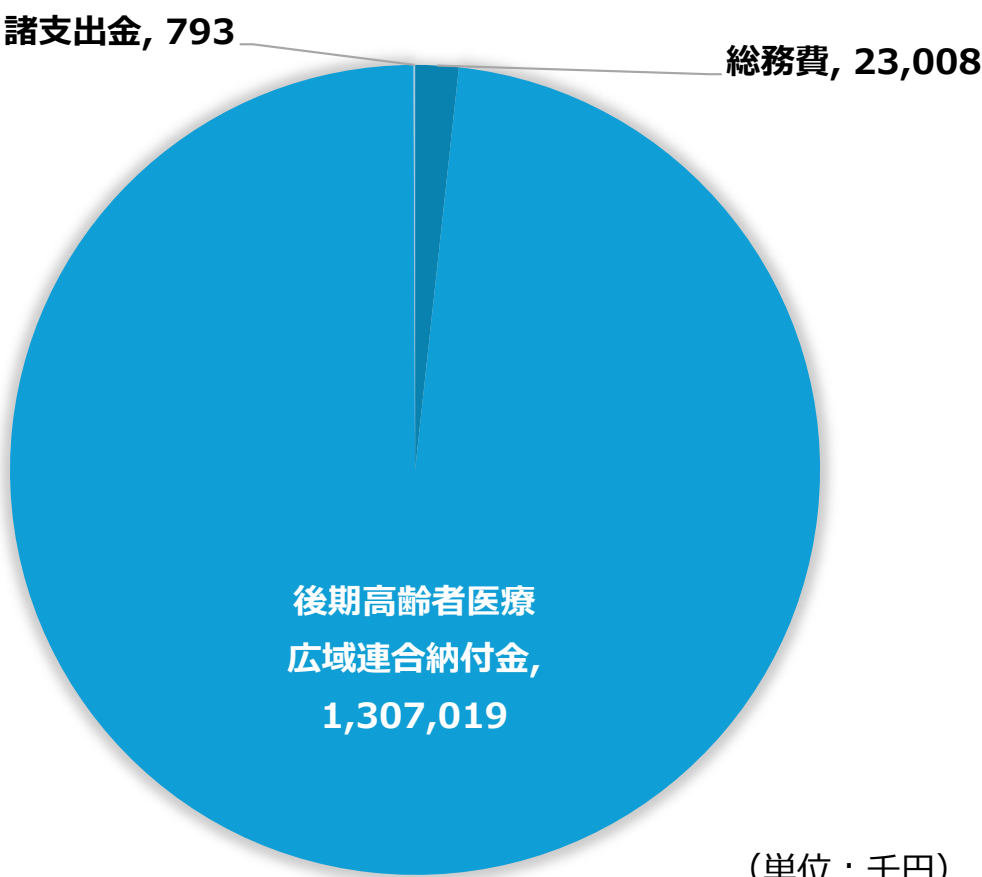
予算科目		令和6年度決算額	令和5年度決算額	増減額	内 容
1	総務費	23,008	23,116	△108	職員給与費等一般管理費、賦課徴収事務費ほか
2	後期高齢者医療広域連合納付金	1,307,019	1,142,054	164,965	事務費等負担金、保険基盤安定負担金、お後期高齢者医療保険料納付金
3	保健事業費	0	1,765	皆減	保健事業
3	諸支出金	793	928	△135	保険料還付金ほか
4	予備費	0	0	0	
合計		1,330,820	1,167,863	162,957	

令和6年度 山陽小野田市後期高齢者医療特別会計決算

歳入（総額 1,332,455千円）



歳出（総額 1,330,820千円）



(単位：千円)

●収支差引

歳入総額1,332,455千円－歳出総額1,330,820千円＝1,635千円（令和7年度へ繰越）

令和6年度の制度改正等

1 「マイナ保険」への移行

令和6年12月2日から健康保険証の新規発行が終了し、「マイナ保険証」を基本とする仕組みに移行しました。現行の保険証の有効期限は令和7年7月31日までで終了し、8月以降は、「マイナ保険証」で医療機関を受診することになりました。後期高齢者医療制度においては、暫定的な運用として、マイナ保険証の保有の有無にかかわらず、被保険者全員に資格確認書を交付する運用となっています。

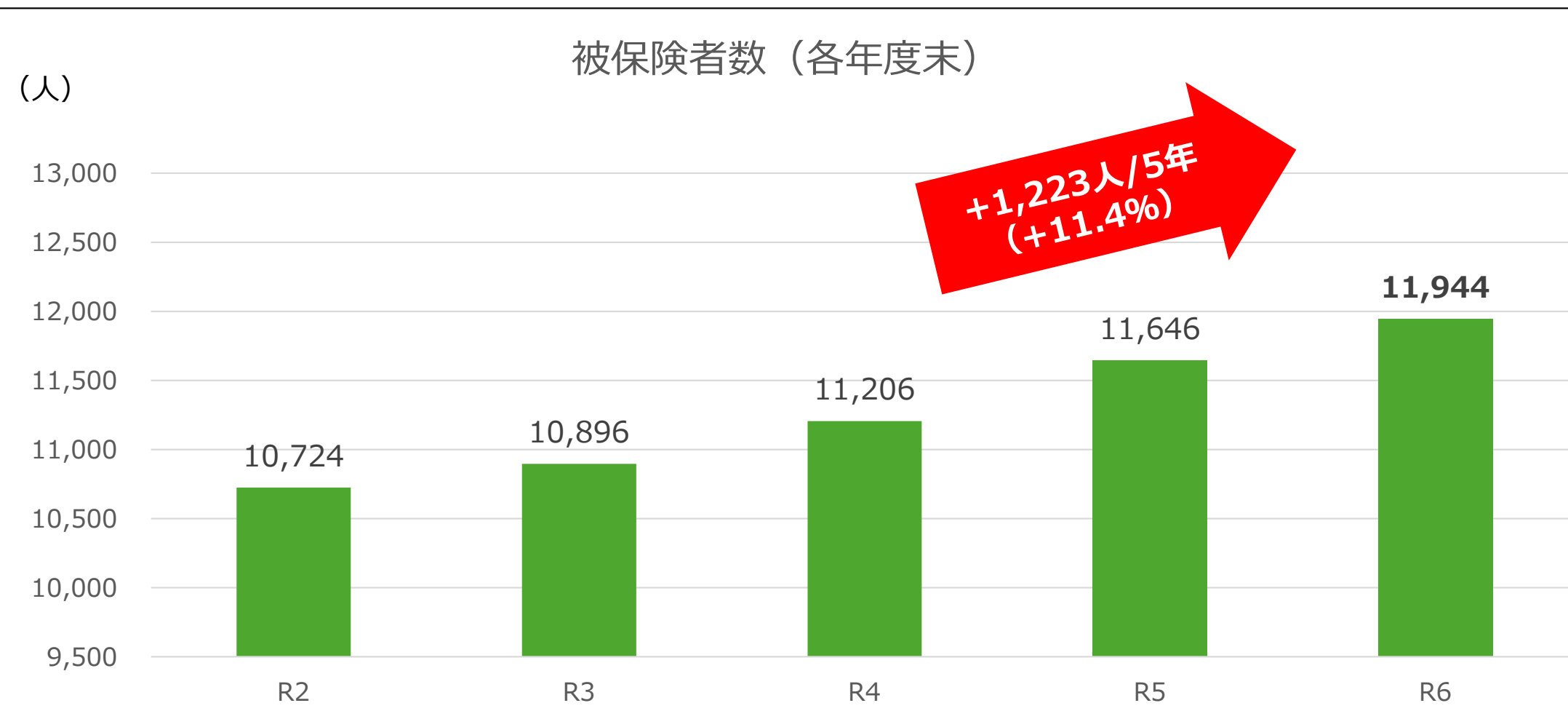
2 保険料率の見直し

後期高齢者医療制度の保険料率は、2年ごとに料率の見直しが行われます。
令和6年度は、以下のように保険料率の改定が行われました。

料 率 等	所得割率	均等割額	一人当たり保険料	賦課限度額
令和6・7年度	11.52%	57,012円	83,937円	80万円
令和4・5年度	10.34%	53,417円	75,853円	66万円

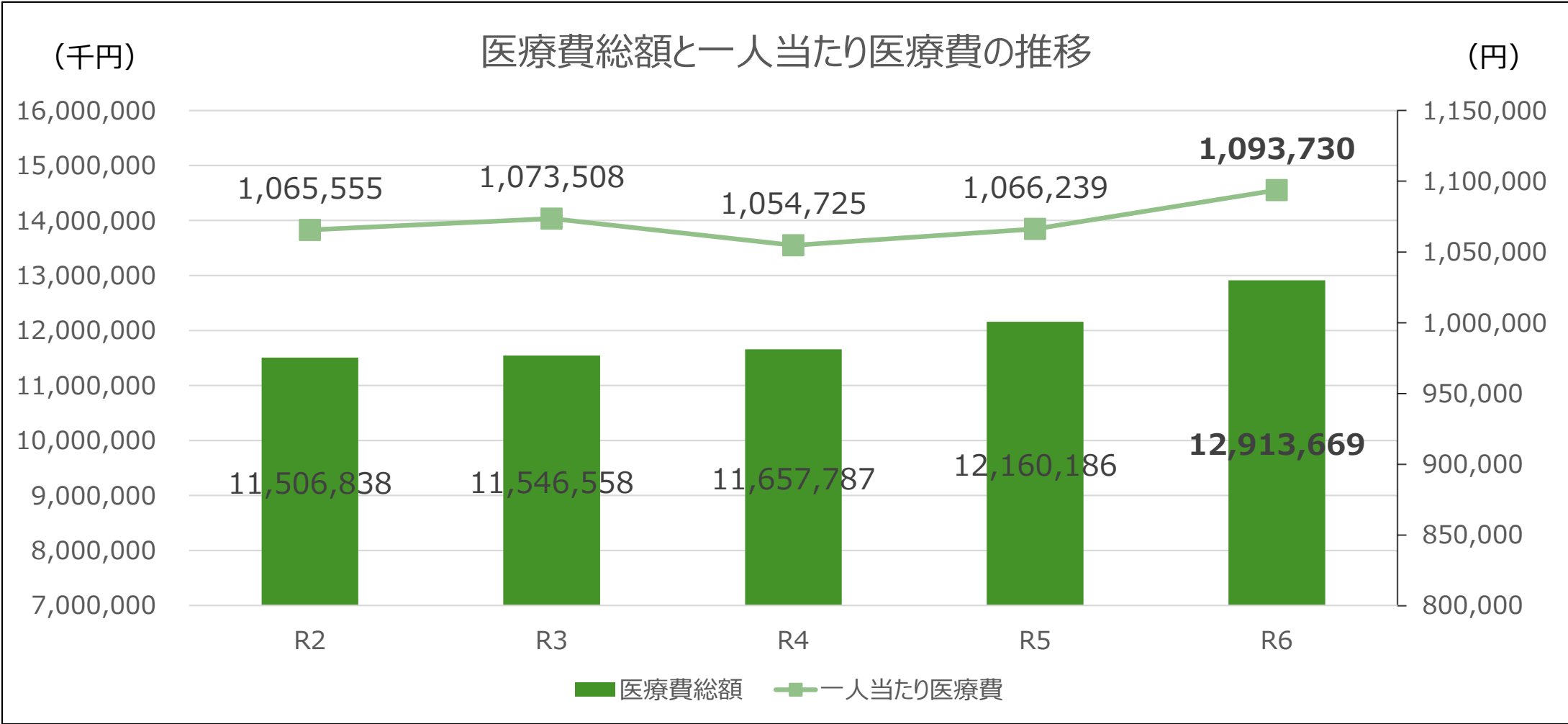
被保険者数の推移

令和6年度末の被保険者数は、**11,944人**となり、前年度から**298人（2.6%）**増加しました。また、令和2年度から令和6年度までの5年間で、**1,223人（11.4%）**増加しています。高齢化により後期高齢者医療制度への移行が進んでいることがわかります。



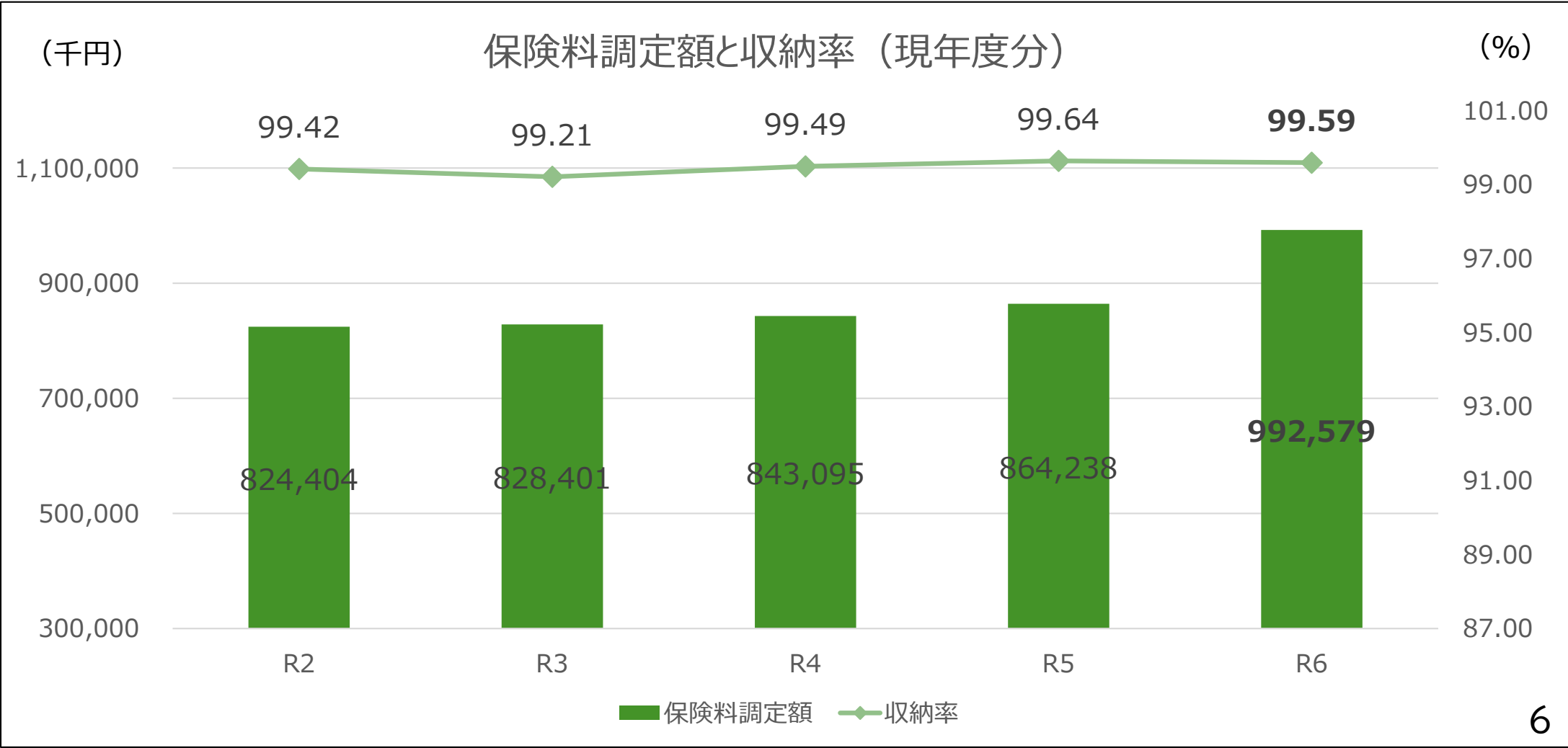
医療費の推移

後期高齢者医療に係る医療費（入院、外来、歯科、調剤などの医療に要した費用の総額）は、コロナ感染拡大後の令和3年度以降、被保険者数の増加に伴い増加傾向にあります。また、一人当たりの医療費についても、年度によって増減はありますが、長期的にみると増加傾向にあります。



保険料調定額と収納率の推移

令和6年度の保険料調定額は、**992,579千円**となり、前年度から128,341千円の増となりました。これは、令和6年度に保険料率の改定が行われたこと、被保険者数の増加が主な要因と思われます。
令和6年度末の収納率は、**99.59%**となり、前年度より0.05ポイント低下しましたが、99%後半の高い収納率を維持しています。



保険料の滞納状況等

<滞納件数等（各年度5月31日現在）>

年度	R4年度	R5年度	R6年度
滞納件数	101件	85件	102件
滞納金額	9,223,882円	6,617,465円	7,370,103円

<短期証・資格証・特別療養費の対象件数（各年度5月31日現在）>

年度	R4年度	R5年度	R6年度
短期被保険者証	22件	21件	－
資格証明書	－	－	－
特別療養費支給対象	－	－	0件

R6. 12以降、マイナ保険証への移行に伴い、短期被保険者証・資格証明書は廃止され、特別療養費の支給の仕組みに変更となりました。

<差押件数（各年度5月31日現在）>

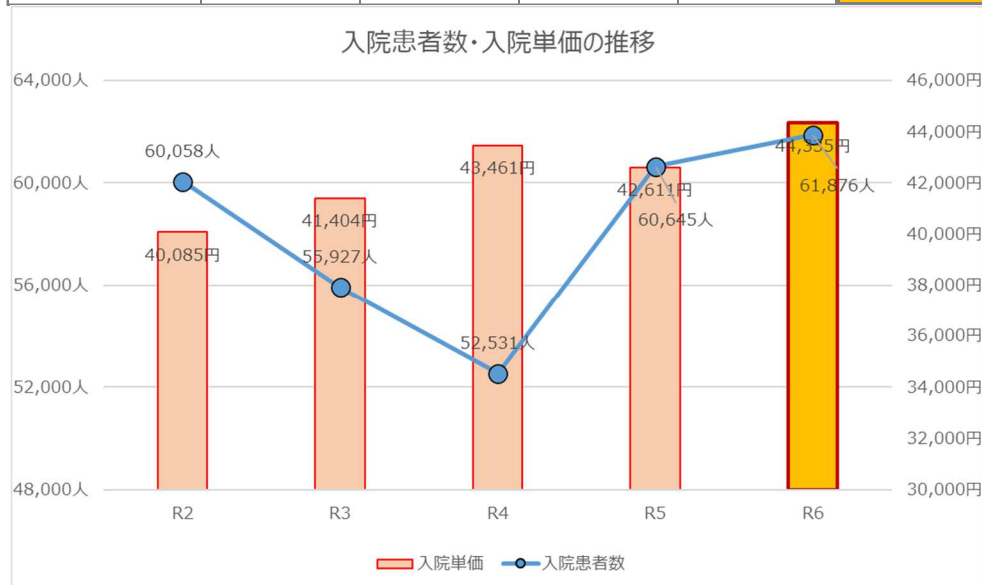
年度	R4年度	R5年度	R6年度
預金口座	3件	13件	6件
生命保険・年金等	9件	6件	9件
合計	12件	19件	15件
差押金額	600,965円	1,999,918円	1,221,762円

令和6年度山陽小野田市病院事業決算報告

1 患者動向

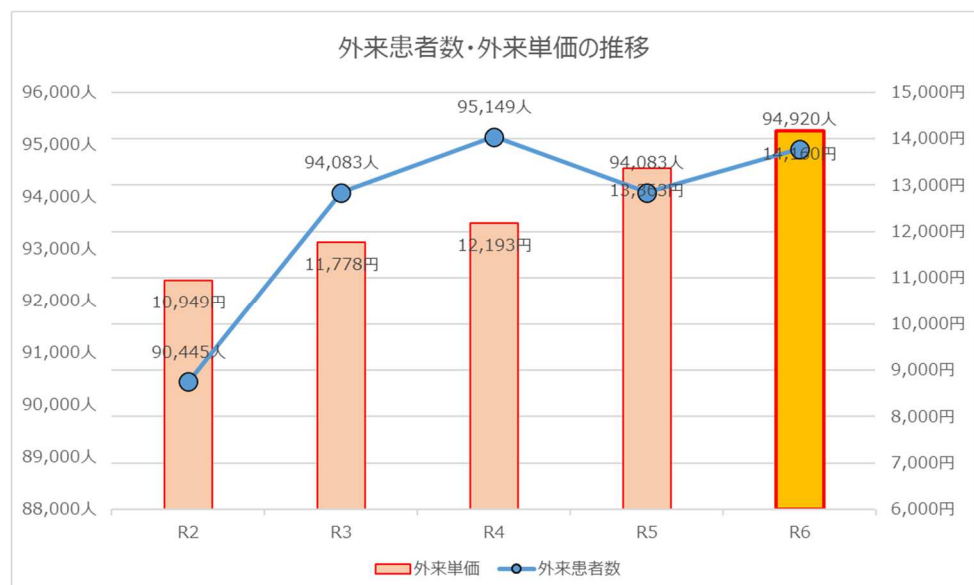
◇ 入院患者数・入院単価の推移

	R2	R3	R4	R5	R6
入院患者数	60,058人	55,927人	52,531人	60,645人	61,876人
1日当たり	164.5人	153.2人	143.9人	165.7人	169.5人
入院単価	40,085円	41,404円	43,461円	42,611円	44,335円
病床稼働率	76.5%	71.3%	66.9%	80.5%	85.2%



◆ 外来患者数・外来単価の推移

	R2	R3	R4	R5	R6
外来患者数	90,445人	94,083人	95,149人	94,083人	94,920人
1日当たり	372.2人	388.8人	391.6人	387.1人	390.6人
外来単価	10,949円	11,778円	12,193円	13,363円	14,160円

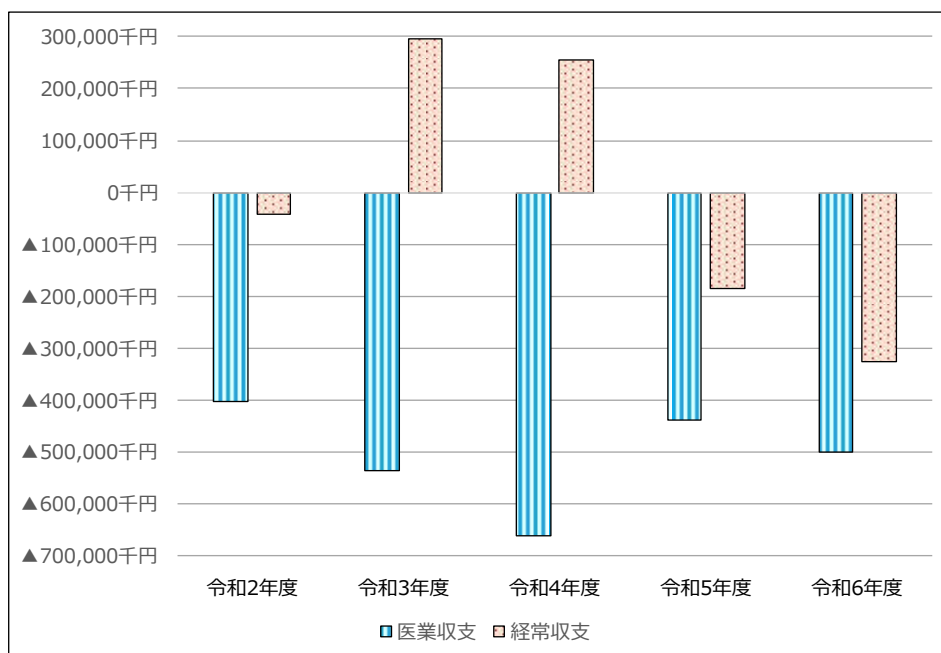


2 収益収支状況

(単位:円/税抜)

	R6年度	R5年度	前年度比較	増減率
医業収益	4,499,248,196	4,247,024,320	252,223,876	105.9%
入院収益	2,743,241,921	2,584,120,539	159,121,382	106.2%
外来収益	1,344,032,423	1,257,196,172	86,836,251	106.9%
その他医業収益	411,973,852	405,707,609	6,266,243	101.5%
医業費用	4,998,228,980	4,685,436,107	312,792,873	106.7%
うち給与費	2,725,784,903	2,537,275,897	188,509,006	107.4%
うち材料費	1,002,700,911	934,907,775	67,793,136	107.3%
うち経費	797,930,568	762,261,047	35,669,521	104.7%
うち減価償却費	422,342,224	398,952,488	23,389,736	105.9%
医業損益	▲ 498,980,784	▲ 438,411,787	▲ 60,568,997	
医業外収益	442,562,042	491,517,179	▲ 48,955,137	90.0%
医業外費用	241,817,865	218,341,866	23,475,999	110.8%
訪問看護ステーション事業収益	17,015,054	1,933,879	15,081,175	879.8%
訪問看護ステーション事業費用	43,083,868	21,765,525	21,318,343	197.9%
経常収支	▲ 324,305,421	▲ 185,068,120	▲ 139,237,301	
特別利益	0	7,313,412	▲ 7,313,412	皆減
特別損失	374,613	265,012	109,601	141.36%
当期損益	▲ 324,680,034	▲ 178,019,720	▲ 146,660,314	
参考：一般会計繰入金	367,611,829	350,024,311	17,587,518	105.02%

医業収支と経常収支の推移

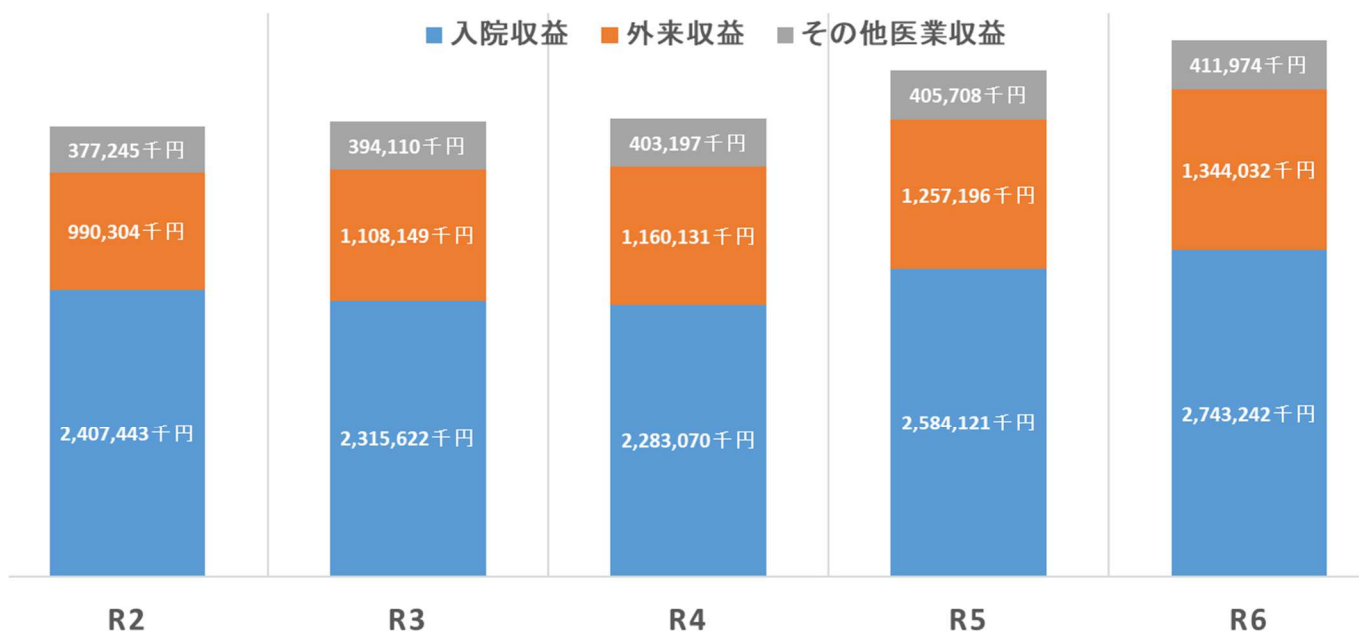


年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
医業収支	▲401,134千円	▲534,775千円	▲660,883千円	▲438,411千円	▲498,981千円
経常収支	▲40,949千円	294,726千円	253,895千円	▲185,068千円	▲324,305千円

◇ 医業収益の推移

(単位：千円)

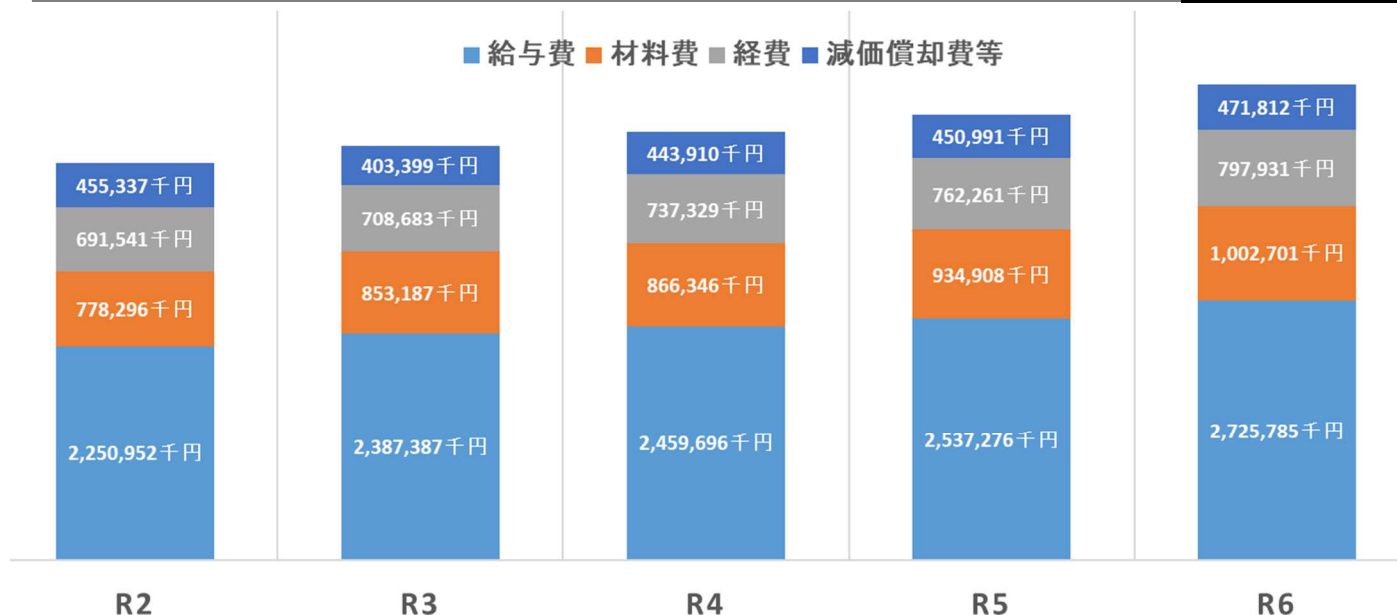
	R2	R3	R4	R5	R6
入院収益	2,407,443千円	2,315,622千円	2,283,070千円	2,584,121千円	2,743,242千円
外来収益	990,304千円	1,108,149千円	1,160,131千円	1,257,196千円	1,344,032千円
その他医業収益	377,245千円	394,110千円	403,197千円	405,708千円	411,974千円
医業収益	3,774,992千円	3,817,881千円	3,846,398千円	4,247,025千円	4,499,248千円



◆ 医業費用の推移

(単位：千円)

	R2	R3	R4	R5	R6
給与費	2,250,952千円	2,387,387千円	2,459,696千円	2,537,276千円	2,725,785千円
材料費	778,296千円	853,187千円	866,346千円	934,908千円	1,002,701千円
経費	691,541千円	708,683千円	737,329千円	762,261千円	797,931千円
減価償却費等	455,337千円	403,399千円	443,910千円	450,991千円	471,812千円
医業費用	4,176,126千円	4,352,656千円	4,507,281千円	4,685,436千円	4,998,229千円



3 資本的収支

(単位:円/税込)

	R6年度	R5年度	前年度比較	増減率
資本の収入	241,639,153	388,958,549	▲ 147,319,396	62.12%
企業債	73,200,000	219,700,000	▲ 146,500,000	33.32%
他会計負担金	168,029,153	169,258,549	▲ 1,229,396	99.27%
寄附金	0	0	0	—
補助金	410,000	0	410,000	皆増
資本の支出	470,589,635	602,945,683	▲ 132,356,048	78.05%
建設改良費	92,269,572	239,628,476	▲ 147,358,904	38.51%
企業債償還金	378,320,063	363,317,207	15,002,856	104.13%
差引不足額	▲ 228,950,482	▲ 213,987,134	▲ 14,963,348	

(補填財源内訳)

消費税等資本の収支調整額	366,208	1,013,608
過年度分損益勘定留保資金	228,584,274	212,973,526

4 企業債

(単位:円)

	R6年度	R5年度	前年度比較	増減率
期首残高	4,119,509,467	4,263,126,674	▲ 143,617,207	96.6%
借入額	73,200,000	219,700,000	▲ 146,500,000	33.3%
償還額	378,320,063	363,317,207	15,002,856	104.1%
期末残高	3,667,989,404	4,119,509,467	▲ 451,520,063	89.0%

令和6年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (R7.1月分)

項 目		当 月	累 計 (4月～1月) (A)	R6当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	186.4人	168.0人	175.0人	96.0%
	外来1日平均	406.9人	390.5人	394.0人	99.1%
	入院患者数	5,778人	51,407人	63,875人	80.5%
	外来患者数	7,731人	80,059人	95,742人	83.6%
病 床 稼 働 率		93.7%	84.4%	87.9%	
平均在院日数（急性期病棟）		13.9日	12.4日		
平均在院日数（地域包括ケア病棟）		26.0日	19.5日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	280,655千円	2,258,213千円	2,800,848千円	80.6%
	外 来	116,372千円	1,130,555千円	1,340,180千円	84.4%
	計 (A)	397,027千円	3,388,768千円	4,141,028千円	81.8%
医 業 費 用	職員給与費	230,215千円	2,269,362千円	2,566,549千円	88.4%
	材 料 費	84,926千円	827,560千円	961,776千円	86.0%
	経費ほか	79,671千円	669,824千円	793,860千円	84.4%
	減価償却費等	38,716千円	387,169千円	473,965千円	81.7%
	計 (B)	433,528千円	4,153,915千円	4,796,150千円	86.6%
医業（料金）収支比率	(A) / (B)	91.6%	81.6%	86.3%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

83.3%

令和6年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書（R7.2月分）

項 目		当 月	累 計 (4月～2月) (A)	R6当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	182.5人	169.2人	175.0人	96.7%
	外来1日平均	389.3人	390.4人	394.0人	99.1%
	入院患者数	5,111人	56,518人	63,875人	88.5%
	外来患者数	7,008人	87,067人	95,742人	90.9%
病 床 稼 働 率		91.7%	85.0%	87.9%	
平均在院日数（急性期病棟）		13.5日	13.6日		
平均在院日数（地域包括ケア病棟）		23.7日	19.8日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	235,138千円	2,493,351千円	2,800,848千円	89.0%
	外 来	102,446千円	1,233,001千円	1,340,180千円	92.0%
	計（A）	337,584千円	3,726,352千円	4,141,028千円	90.0%
医 業 費 用	職員給与費	233,921千円	2,503,283千円	2,566,549千円	97.5%
	材 料 費	81,298千円	908,858千円	961,776千円	94.5%
	経費ほか	62,547千円	732,371千円	793,860千円	92.3%
	減価償却費等	38,717千円	425,886千円	473,965千円	89.9%
	計（B）	416,483千円	4,570,398千円	4,796,150千円	95.3%
医業（料金）収支比率	(A) / (B)	81.1%	81.5%	86.3%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

91.7%

令和6年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書（R7.3月分）

項 目		当 月	累 計 (4月～3月) (A)	R6補正予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	172.8人	169.5人	168.8人	100.4%
	外来1日平均	392.7人	390.6人	391.0人	99.9%
	入院患者数	5,358人	61,876人	61,610人	100.4%
	外来患者数	7,853人	94,920人	95,013人	99.9%
病 床 稼 働 率		86.8%	85.2%	84.8%	
平均在院日数（急性期病棟）		14.1日	12.6日		
平均在院日数（地域包括ケア病棟）		18.9日	19.8日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	249,891千円	2,743,242千円	2,754,507千円	99.6%
	外 来	111,031千円	1,344,032千円	1,339,478千円	100.3%
	計（A）	360,922千円	4,087,274千円	4,093,985千円	99.8%
医 業 費 用	職員給与費	222,502千円	2,725,785千円	2,768,099千円	98.5%
	材 料 費	93,843千円	1,002,701千円	1,030,279千円	97.3%
	経費ほか	72,784千円	805,155千円	813,446千円	99.0%
	減価償却費等	38,702千円	464,588千円	464,601千円	100.0%
	計（B）	427,831千円	4,998,229千円	5,076,425千円	98.5%
医業（料金）収支比率	（A） / （B）	84.4%	81.8%	80.6%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

100.0%

令和7年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (R7.4月分)

項 目		当 月	累 計 (4月) (A)	R7当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	174人	174人	174人	100.0%
	外来1日平均	377人	377人	396人	95.2%
	入院患者数	5,239人	5,239人	63,428人	8.3%
	外来患者数	7,936人	7,936人	95,832人	8.3%
病 床 稼 働 率		87.7%	87.7%	87.3%	
平均在院日数 (急性期病棟)		14.8日	14.8日		
平均在院日数 (地域包括ケア病棟)		21.2日	21.2日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	241,684千円	241,684千円	2,871,295千円	8.4%
	外 来	117,146千円	117,146千円	1,367,312千円	8.6%
	計 (A)	358,830千円	358,830千円	4,238,607千円	8.5%
医 業 費 用	職員給与費	225,586千円	225,586千円	2,763,415千円	8.2%
	材 料 費	87,047千円	87,047千円	1,043,371千円	8.3%
	経費ほか	61,465千円	61,465千円	820,341千円	7.5%
	減価償却費等	39,170千円	39,170千円	470,037千円	8.3%
	計 (B)	413,268千円	413,268千円	5,097,164千円	8.1%
医業 (料金) 収支比率	(A) / (B)	86.8%	86.8%	83.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

8.3%

令和7年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書（R7.5月分）

項 目		当 月	累 計 (4月～5月) (A)	R7当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	166人	170人	174人	97.7%
	外来1日平均	383人	380人	396人	96.0%
	入院患者数	5,158人	10,397人	63,428人	16.4%
	外来患者数	7,668人	15,604人	95,832人	16.3%
病 床 稼 働 率		83.6%	85.6%	87.3%	
平均在院日数（急性期病棟）		13.5日	14.2日		
平均在院日数（地域包括ケア病棟）		22.1日	21.6日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	232,052千円	473,736千円	2,871,295千円	16.5%
	外 来	117,935千円	235,081千円	1,367,312千円	17.2%
	計（A）	349,987千円	708,817千円	4,238,607千円	16.7%
医 業 費 用	職員給与費	223,112千円	448,698千円	2,763,415千円	16.2%
	材 料 費	68,039千円	155,086千円	1,043,371千円	14.9%
	経費ほか	63,582千円	125,047千円	820,341千円	15.2%
	減価償却費等	39,170千円	78,340千円	470,037千円	16.7%
	計（B）	393,903千円	807,171千円	5,097,164千円	15.8%
医業（料金）収支比率	（A） / （B）	88.9%	87.8%	83.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

16.7%

令和7年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (R7.6月分)

項 目		当 月	累 計 (4月～6月) (A)	R7当初予算 (年間) (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	174人	171人	174人	98.3%
	外来1日平均	365人	375人	396人	94.7%
	入院患者数	5,240人	15,637人	63,428人	24.7%
	外来患者数	7,683人	23,287人	95,832人	24.3%
病 床 稼 働 率		87.7%	85.9%	87.3%	
平均在院日数（急性期病棟）		14.0日	14.1日		
平均在院日数（地域包括ケア病棟）		19.1日	20.7日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	223,877千円	697,613千円	2,871,295千円	24.3%
	外 来	110,358千円	345,439千円	1,367,312千円	25.3%
	計 (A)	334,235千円	1,043,052千円	4,238,607千円	24.6%
医 業 費 用	職員給与費	226,600千円	675,298千円	2,763,415千円	24.4%
	材 料 費	74,140千円	229,226千円	1,043,371千円	22.0%
	経費ほか	60,585千円	185,632千円	820,341千円	22.6%
	減価償却費等	39,170千円	117,510千円	470,037千円	25.0%
	計 (B)	400,495千円	1,207,666千円	5,097,164千円	23.7%
医業（料金）収支比率	(A) / (B)	83.5%	86.4%	83.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

25.0%

令和6年度資金繰表

山陽小野田市病院事業会計

(単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収入	過年度未収金	343,853	332,877	12,586	9,063	106	39	99	90	194	96	62	103
	医業収益	41,339	53,599	305,804	339,026	336,394	374,849	384,104	331,263	351,602	387,941	362,139	425,111
	医業外収益	283	1,181	1,844	1,117	1,374	2,636	1,466	1,172	3,276	2,127	12,534	5,066
	他会計繰入金					200,000			200,000			100,000	
	預り金	33,785	35,112	73,499	33,896	35,266	35,560	33,825	35,002	98,374	34,927	36,086	35,843
	企業債												73,200
	寄附金												
	その他	1,005	1,348	1,516	1,322	1,859	2,336	2,190	2,095	2,844	2,517	1,688	2,709
	前月繰越金	893,812	775,481	807,553	555,167	587,024	683,892	566,392	598,928	779,599	488,172	450,600	479,714
	合計(A)	1,314,077	1,199,598	1,202,802	939,591	1,162,023	1,099,312	988,076	1,168,550	1,235,889	915,780	963,109	1,021,746
支出	過年度未払金	185,826	14,669										
	人件費	139,391	165,971	430,852	167,090	166,586	197,419	168,330	168,064	508,275	200,876	178,143	170,138
	物件費	9,106	175,142	144,055	137,780	180,893	173,464	159,424	178,621	152,359	207,061	161,937	148,532
	建設改良費	152,331	1,000	5,320	3,979	9,266	1,174	19,031	6,474		4,914	19,958	
	支払利息					343	19,795					289	19,152
	企業債等償還金					84,338	104,494					84,338	105,151
	長期借入金償還金												
	預り金	35,679	34,064	64,553	42,169	34,674	35,108	35,892	33,955	82,679	50,460	35,322	36,314
	その他	16,263	1,199	2,855	1,549	2,031	1,466	6,471	1,837	4,404	1,869	3,408	4,623
	合計(B)	538,596	392,045	647,635	352,567	478,131	532,920	389,148	388,951	747,717	465,180	483,395	483,910
	差引(A-B)	775,481	807,553	555,167	587,024	683,892	566,392	598,928	779,599	488,172	450,600	479,714	537,836
一時借入	借入額												
	返済額												
	合計(C)												
	一時借入金残高												
	月末残高(A-B+C)	775,481	807,553	555,167	587,024	683,892	566,392	598,928	779,599	488,172	450,600	479,714	537,836
	月間収支(※)	▲ 118,331	32,072	▲ 252,386	31,857	96,868	▲ 117,500	32,536	180,671	▲ 291,427	▲ 37,572	29,114	58,122

※ 月間収支とは、前月繰越金を除いた純粋な月内の収支をいい、「(A) - (B) - 前月繰越金」で算出します。

令和7年度資金繰表

山陽小野田市病院事業会計

(単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
収 入	過年度未収金	342,057	341,930	17,075	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医業収益	41,335	56,150	349,674	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	医業外収益	256	1,632	1,293	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	他会計繰入金	0	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	預り金	37,204	41,768	97,692	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	企業債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	1,738	1,939	1,398	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	前月繰越金	537,836	456,153	500,259	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023
	合計（A）	960,426	899,572	1,167,391	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023
支 出	過年度未払金	206,705	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	235,799	187,492	462,440	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物件費	10,276	163,795	144,714	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建設改良費	12,765	8,950	5,850	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	企業債等償還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長期借入金償還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	預り金	36,199	36,685	71,550	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2,529	2,391	1,814	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計（B）	504,273	399,313	686,368	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	差引（A－B）	456,153	500,259	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023
一 時 借 入	借入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	返済額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計（C）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時借入金残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月末残高（A－B＋C）	456,153	500,259	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023	481,023
	月 間 収 支(※)	▲ 81,683	44,106	▲ 19,236	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 月間収支とは、前月繰越金を除いた純粋な月内の収支をいい、「(A)－(B)－前月繰越金」で算出します。

山陽小野田市民病院経営会議概要 【令和7年3月～令和7年8月開催分】

開催状況	3/4, 4/1, 5/13, 6/3, 7/1, 8/5
出席者	病院事業管理者、顧問、院長、副院長、診療部長、看護部長、薬剤部長、医療技術部長、副看護部長、事務部長、総務課長、医事課長、経営企画室長、総務課主幹、参与、市健康増進課長
主な協議内容	・各月の病床稼働率の報告と傾向分析 ・基本理念、基本方針、令和7年度の病院目標について ・リハビリテーション科の標ぼうについて ・紹介患者数増加の検討について ・救急医療情報システムの本格稼働について
その他報告事項等	・透析件数の状況について ・各月における診療収益の状況について ・病院機能評価の更新について ・安否確認システムの導入の検討について ・令和7年度当初予算について

山陽小野田市児童館条例を廃止する条例の制定について

1 廃止理由

働き方の多様化等、子育て世代を取り巻く社会情勢の変化に伴う児童クラブのニーズの高まりに対応するため、現在、児童館内で実施している児童館事業及び機能については、他の施設に移行することで実施が可能であることから、令和8年3月31日の指定管理期間満了をもって当該施設を廃止するもの。

2 今後の方向性

小野田児童館廃止時の機能移行を参考にし、6つの児童館機能を次のとおり移行する。

事業		活動内容	移行後の事業実施場所
児童館事業	子どもの生涯学習機能	① 児童館クラブ活動 地域子どもクラブ ※小野田児童館廃止後のクラブ名	各地域交流センター 学校の余裕教室
		② 子どもの遊びの拠点と居場所（常設）	各地域交流センター （スタディールーム、談話室ほか）
	保健機能	③ 子育て家庭への支援（随時）	スマイルキッズ 地域子育て支援センター
		④ 課題の発生予防・早期発見（随時）	スマイルキッズ 地域子育て支援センター

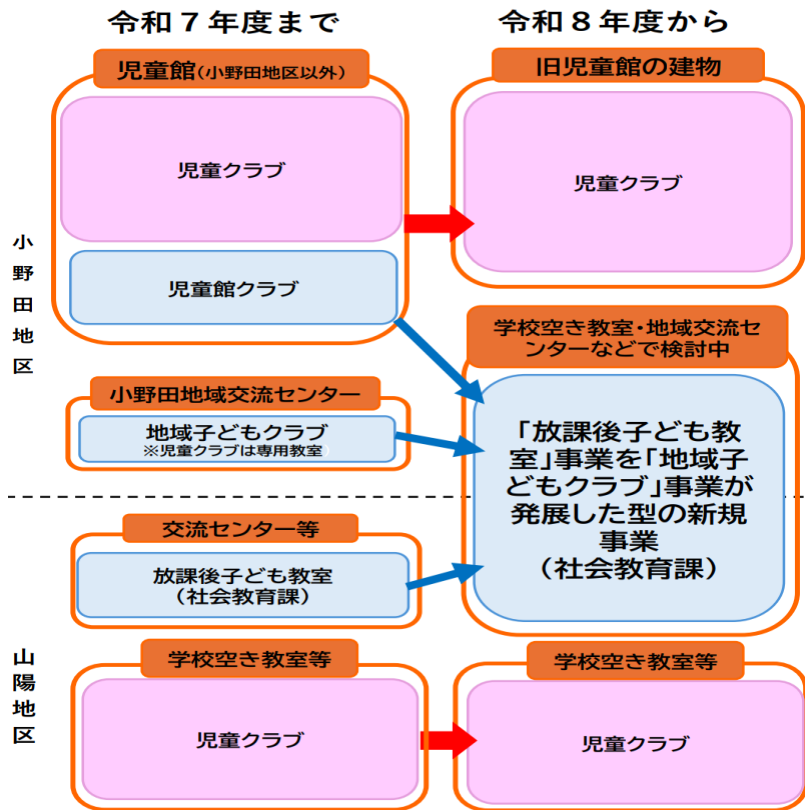
※児童館事業については「山陽小野田市児童館条例」に規定されている内容に基づく

②③④については、小野田児童館廃止時の機能移行内容で特に問題もないため、6つの児童館においても同様の機能移行とする。なお、①については、次のとおり移行方法を見直すものとする。

(1) ①児童館クラブ活動・地域子どもクラブの移行について

児童館廃止後のモデル事業として、小野田児童館廃止後、「地域子どもクラブ」事業を、子育て支援課所管で実施しているが、地域の特色を活かした活動（プログラム）を実施してはいるものの課題もあること、また、今後は市内に「児童館」としての建物がなくなることから、全市的に同じサービス提供を行うことが市民サービスの向上に繋がること等を踏まえ、こどもたちにとって何が一番良いのか、「こどもファースト」に主眼を置き、検討した結果、令和8年度から、現在、社会教育課が実施している「放課後子ども教室」事業を、「地域子どもクラブ」事業が発展した型の新規事業を実施し、組織体制を拡充した上で社会教育課が、全市的に取り組むものとする。

【参考】 今後の**児童クラブ・児童館クラブ活動（集団的指導及び個別的指導）**のすがた（予定）



【水色部分】

これまで、小野田地区と山陽地区で違う形態で提供していた類似事業（児童館クラブ・地域子どもクラブ・放課後子ども教室）を、令和8年度からは市内全域で同じ事業（「放課後こども教室」事業を「地域子どもクラブ」事業が発展した型の新規事業）を提供予定（※実施主体：社会教育課）

【ピンク部分】

児童クラブに関しては、小野田地区・山陽地区ともに従来通りの場所で継続実施

（※小野田地区：受入れ学年の拡大を検討）

3 施行日

令和8年4月1日

※参考（用語説明）

①児童クラブ

保護者の就労等により、放課後及び長期休業期間（夏休み等）に児童のお世話が出来ない家庭（留守家庭）を対象に、児童を一定の場所でお預かりし、支援員の元集団での遊びを通して児童の健全育成を図ることを目的とする事業。利用は有料。

②児童館クラブ

児童館事業の1つで、児童館で行う様々なクラブ活動。利用は無料（実費負担必要な場合有）

③放課後子ども教室

放課後や週末に小学校の余裕教室や地域交流センター等を活用して、地域の方々の参画を得て、こどもたちが勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動に取り組むことにより、地域社会の中で、こどもたちを見守り、育んでいく環境づくりを推進する事業。